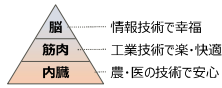


共有された幻想（～1970）



「我々は成長し続け、幸せになり続けるだろう」

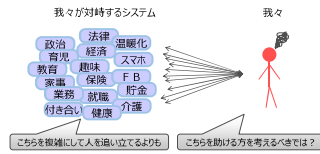
分断された局所的満足（1980～）



「何をしたら良いかわからないので、文句を言いつつ現状に満足しよう」

(梅棹忠夫さんの情報産業論から借りたフレームワークで)

まだシステムを高度化するの？



人の知的能力をサポートするための新しいICT



人にPCやスマホを操作してもらうのではダメ
知っているアプリ、知っているサイト、知っているサービス
やっていることを中断してPC/スマホを操作
普通に生活している中でICTが邪魔にならない様に介入
AR
空間UI



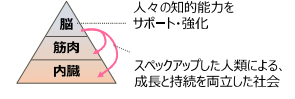
<https://journal.jp.fujitsu.com/2018/09/27/01/>

分断された局所的満足（～2020）



「何をしたら良いかわからないので、文句を言いつつ現状に満足しよう」

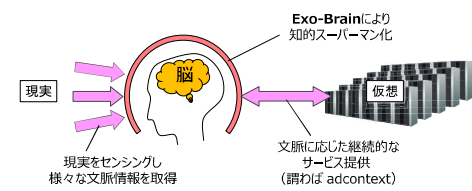
成長・持続の両立（2020～）



「環境負荷をかけずに出来ることが色々あるし、相手にも自分にも嬉しい」



知的能力をサポート・強化するExo-Brain



IoTの浸透がIoC (Internet of Context) を実現する

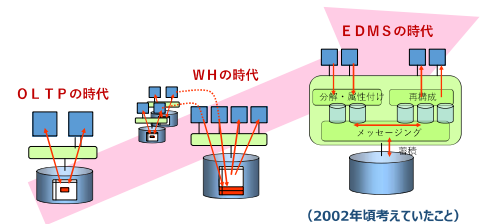
IoTの使い方の広がり

個々の現場で利用	クラウドでビッグデータ処理	現場をリアルタイム制御
<ul style="list-style-type: none"> • スマホでドア開閉 • 電気使用量をクラウドで管理 	<ul style="list-style-type: none"> • 車の混雑状況を可視化 • 工作機械の使用状況からメンテナンスを最適化 	<ul style="list-style-type: none"> • 自動運転で駐車車両回避 • 電気使用量から熱中症リスク把握、介護士を派遣 • Exo-Brain

リアルタイムIoTのためのICTへの要請

- スピード/スループット ⇒ リアルタイムと呼べるスピード、億の規模のIoTから毎秒上り下りするデータを捌けるスループット
- モノだけでなくコトの把握 ⇒ 個々のIoTデータや統計によるモノの把握から、IoT間、環境とIoTの間で起きるコトの把握へ
- 高並列 + 柔軟 + 頑丈 ⇒ メモリーコアにフィットし、規模/処理の変化に強く、障害が起きても倒れず走り続けるシステムへ
- アーキテクチャの変化 ⇒ 上記に応えるためには、アーキテクチャも新しくなっていく必要がある

押し寄せるデータを受け入れつつ処理し続けるための仕掛け



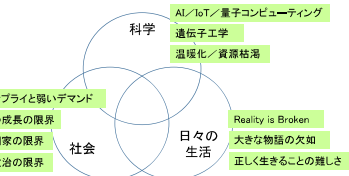
<http://aitc.jp/bizar/theTheoryOfARIndustry/talk1.html>
<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/report/ar/2018no08.html>



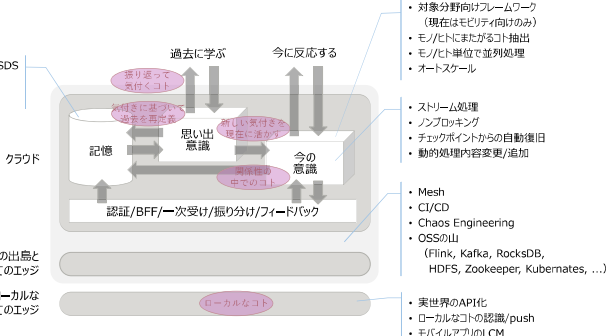
神への道 自然の中の一要素として生きる道

これまでの人類では通用しない世界

世界は狭く、密に、複雑になってしまった
科学技術の爆発的な進歩、日常生活への侵入
対立軸を失って難しくなった日々の判断
見も知らぬ国の出来事で揺れ動く不安定な政治、経済



もう少し細かく見ると...



リアクティブ宣言

